

特別支援学級（なかよし学級）とは

○特別支援学級とは

様々な要因によって、日常生活や学習の場面で特別な支援や配慮が必要な子どもたち一人ひとりが、自立し社会参加していくことを目指して、それぞれの特性に合わせた教育が受けられるようにする場として、特別支援学級が各学校に設けられています。

特別支援学級では、一人ひとりの実態と課題の把握に努め、それぞれのよさを大切にしながら、その子に必要な基礎学力をつけるとともに情緒の安定をはかり、意欲や自信を高めていくよう学習活動を行います。

例えば、静かで落ち着ける環境を準備する、その子に合わせたペースで学習する、個々の特性に合わせて情報を提示する、などの手立てを工夫することで、安心して学習に取り組めるようにし、その子が持っている力を伸ばせるように支援します。

○なかよし学級の教育活動

本年度、新宮東小学校には特別支援学級「なかよし学級」が10クラスあり、1年生から6年生までの児童が在籍しています。

なかよし学級では主に国語・算数の学習をします。（実態や学習内容に応じて、他の教科を学習することもあります。）交流学級で使っているものと同じ教科書やドリル等を使って学習したり、実態に応じた教材・教具を用いて学習したりします。

また、生活単元学習（行事や季節に関わる単元を設定し、自立的な生活に必要なことがらを实际的・総合的に学習するもの）や自立活動（コミュニケーションの能力、他者との関わり、心理的な安定などに関する学習）も行います。日常生活に必要なことがらやルール、周りの人とのよりよいコミュニケーションの方法などを学習することで、友達との関係をより円滑にし、自信をもって楽しく学校生活を送ることができるよう支援しています。

国語・算数以外の教科、朝の会、帰りの会、給食、掃除、学校行事は交流学級（各学年のクラス）で行っています。子どもたちは、交流学級となかよし学級を行き来し、両方の学級で学習をしています。

平成20年度より、発達に気になる児童に応じて「通級指導教室」を開設しました。この教室は、お子さんの発達に関して、支援や教育相談を行う教室です。週1時間程度、教室を離れて学校に設置している指導教室で個別指導を行います。指導期間は1～3年間の原則として退級出来る児童を対象としています。

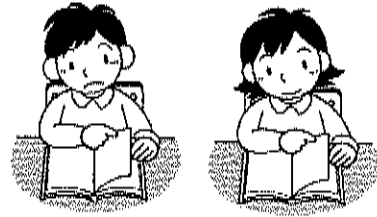
また、相談だけでもお受けしていますので、お子さんのことで気にかかることがございましたらご相談下さい。

こんな悩みはありませんか？

- 1 コミュニケーションが成立しにくい（子どもの困り感から）
- ・ 自分の興味のあることだけを一方的に話す。
 - ・ 友達と仲良くしようとしても、友人関係をうまく築けない。

2 行動が気になる

- ・ 課題に集中し続けることが苦手である。
- ・ 物をなくす、忘れることが多い。
- ・ じっとしていることが苦手である。
- ・ 順番を待つのが苦手である。
- ・ ある一定のものにこだわりがある。



3 特定の能力に心配がある『学習障害的（LD）傾向がある場合』

※教科の遅れを補充するための指導ではありません。

① 聞くこと

- ・ 聞き違いや聞きもらしがよくある。
- ・ 話し合いに参加するのが難しい。

② 話すこと

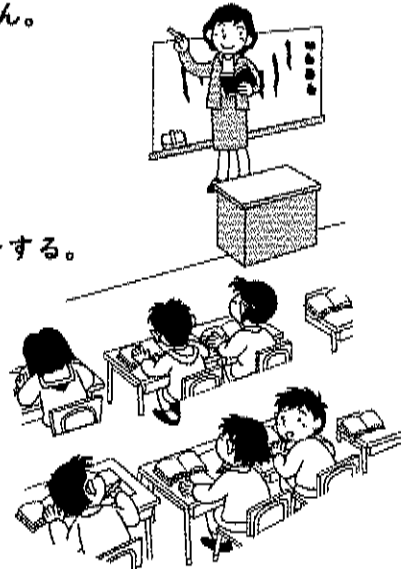
- ・ 単語の羅列や短い文で、内容的に乏しい話し方をする。
- ・ 思いつくままに話す。

③ 読むこと

- ・ 言葉を読み間違える。行をとばす。
- ・ 音読が遅く、たどたどしい読み方をする。

④ 書くこと

- ・ 表記の決まりが身に付かない。
- ・ 文字の形が整わない。筆順の間違が多い。



※ 1～3のことが、継続的に見られるお子さんが対象になります。

発達相談を希望される場合は、まずは担任もしくは特別支援コーディネーターまでご連絡下さい。後ほど、通級担当者からご連絡いたします。